

委託訓練カリキュラム

訓練の種類 (該当する項目は「✓」印)		資格の取得をめざす訓練		デジタル職場実習又は 職場見学等を実施する訓練	
訓練科名	施設警備員養成科(1か月)【短期間訓練】 【託児付】		就職先の 職務・仕事	施設警備員	
訓練期間(定員)	1か月(10人)【託児定員:3人】				
訓練受講生の条件	特になし				
訓練目標 (仕上がり像)	商業施設・大型ビル・学校・ホテル等、多様な施設において施設警備員として必要とされる、監視業務、出入管理業務、開閉館業務、巡回業務や警報システム等の操作方法等、即戦力として活躍することができる、実務的知識や技能を習得する。				
訓練概要	警備業法に基づく警備全般の基本業務に関する知識及び技能・技術を習得し、商業施設やオフィスビルでの職場を見学することにより、安定した職場の選択を行うことができるようになる。				
訓練修了後に 取得できる資格	名称(普通救命講習Ⅰ)		認定機関(大阪市消防局)		
訓練修了後に 受験できる関連資格 ※受験料別途自己負担	名称(自衛消防業務講習) 名称(防火・防災管理講習)		認定機関(一般財団法人日本消防施設安全センター) 認定機関(一般財団法人日本防火・防災協会)		
訓練内容	DL	科目	科目の内容	時間	
	○	学科	安全衛生	労働災害、災害防止、救急処置	3
			情報リテラシー	ネット活用のルール、個人情報保護とセキュリティ、ウイルス対策、SNSの注意	3
			働くことの基本ルール	労働関係法令・諸制度の仕組み理解、労働契約の締切、賃金、労働時間、休憩・休日、有給休暇、労働保険、母性保護、各種ハラスメント対策等	3
	実技		警備業務概論	警備業の社会的な役割、警備員の使命と心構え、警備員に求められる信頼感、日常の心得、警備業法第15条、権限行使の類似行為、教育及び指導に関する制度、各種検定制度、警備員と制服	12
			警備業務に関わる 法令知識	要件、警備員の制限、護身用具、基本的人権、刑法、刑事訴訟法、現行犯逮捕、緊急逮捕、遺失物法、職務質問	12
			消防法・消火設備操作	燃焼と消火の基礎、フラッシュオーバー、消防設備の設置義務、消防設備、自動火災報知設備、避難設備、消火活動上必要な施設、消火器操作要領、消火栓操作要領、避難誘導	6
			礼式・基本動作	室内の敬礼、室外の敬礼、基本の姿勢、方向転換	3
			救急法操作	心肺蘇生法、AED操作要領、応急手当の要領	3
			護身術	危険からの身の守り方、護身術、警戒棒・徒手・さすまたの使い方	3
			警備業務対象施設 における業務実践	出入管理、鍵、巡回、不審者(物)、報告・通報、職務質問、警報装置、防災センター業務、交通誘導、雑踏警備	18
			職場見学	実際の警備の現場(商業施設・オフィスビル等)を業務を見学、現場で勤務している方と交流	18
	就職支援		社会人基礎	【ビジネスマナー】マナーの五原則(挨拶、表情、身だしなみ、態度、言葉遣い)電話応対、訪問、名刺交換、ビジネスメール、PDCA等 【コミュニケーション】他者と協力する楽しさ、考えを受容する能力をグループワークを通じて習得、傾聴力、ストレスマネジメント等	6
			自己理解と職業理解	【自己理解】アセスメントツールを利用した自己分析、キャリアの棚卸し、自己PRの作成等 【職業理解】業界/職種研究、年齢階級別の求人ニーズ・組織における年齢役割の理解等	6
			就職支援	・就職活動の進め方 ・履歴書・職務経歴書の作成方法、面接における採用側の視点等 ・面接ロープレ(求人側と求職者側に分かれてロープレ) ・キャリアコンサルタントによる就職相談・支援・情報提供等 ・情報収集の方法(インターネットを使った情報検索、就職サイトの活用、年代別・職種別サイトの活用)	12
訓練時間総合計				108 時間	
学科	9 時間	実技	75 時間	就職支援	24 時間

※DL(デジタルリテラシー):訓練分野の特性に応じた基礎的なデジタルリテラシーの要素を含む

【訓練実施施設名】

ザ・アールビジネススクール

【所在地】

〒541-0056

大阪府中央区久太郎町3-6-8 JRE御堂筋ダイワビル8階

【電話番号】

06-6281-9472

【最寄り駅】

OsakaMetro 御堂筋線 本町駅(徒歩3分・距離0.1km)

OsakaMetro 堺筋線 堺筋本町駅(徒歩8分・距離0.65km)

OsakaMetro 中央線 本町駅(徒歩5分・距離0.4km)

OsakaMetro 四つ橋線 本町駅(徒歩5分・距離0.4km)

【最寄り駅からの地図】

